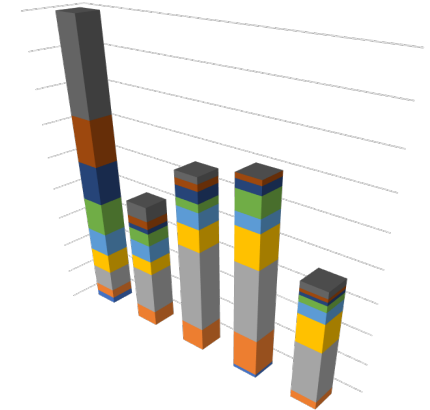


## 札幌市の感染状況・医療提供体制の週間分析 概況

(2020年12月23日分)

※2020年12月14日～12月20日の1週間のデータを用いた分析



※本書及び掲載されているデータの無断転載及び著者本人以外からの無断提供を禁じます。  
※日々の診療での参考としてのみ御利用ください。

# 概況

## 感染状況 の分析

## 検査・医療提供体制 の分析

●■感染は縮小傾向ですが、実行再生産数は下がりどまっており、**縮小スピードは緩やか**となっています。施設・医療機関のクラスターが持続的に発生しています。十分な警戒がまだ必要な状況です。

●■65歳以上の患者数が26%、50代以上は43%と**高い値が持続し**、医療機関や高齢者施設でのクラスター発生が原因です。院内・施設内伝播を減らすためにも、**全施設でコロナ発生に関わらず環境消毒・手指衛生のキャンペーン実施**をご検討ください。

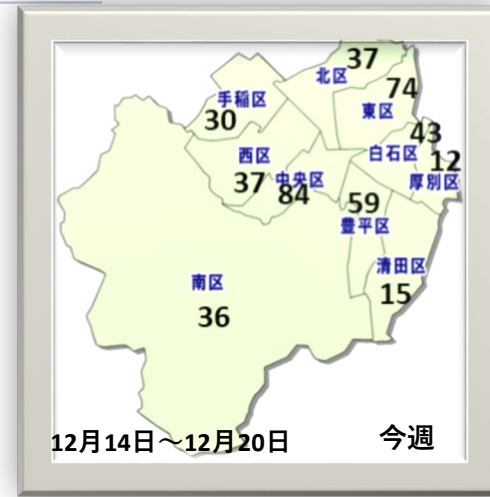
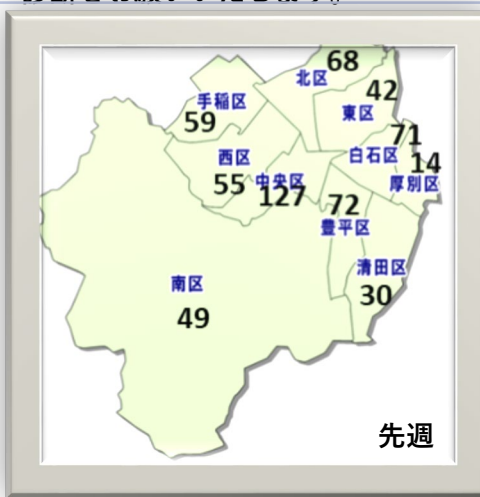
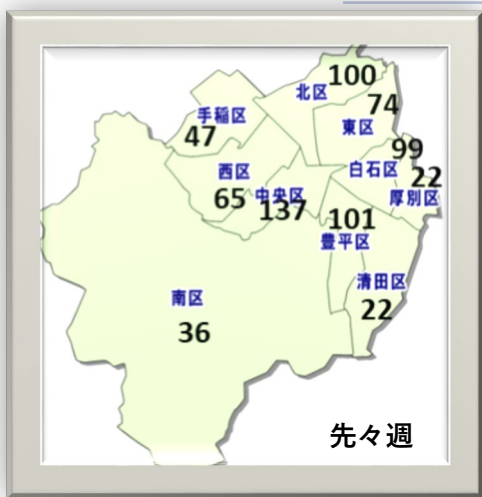
●■ほぼすべての区で新規陽性者数が減少傾向ですが、手稲区で増加しています。

●■年代別・職業別のホットスポット数が減少傾向にあるなか、**10代の学生等に発生**しているのが目立ちます。

●■入院患者数はピークを迎えていると考えますが、**重症患者数は高い値を維持**しています。介護が必要な高齢者の陽性者が持続的に出ており入院医療体制は厳しい状態が続いています。

●■**介護が必要な陽性高齢者、急性期を脱した陰性コロナ高齢者の受け入れ後方病院が不足**しています。地域のコロナ対応病院の後方病院としての受け入れのご協力をお願いいたします（陽性・陰性高齢者入院受入体制整備に係る支援についてご質問があれば岸田までご連絡ください：kiccy1975@gmail.com）。

●■**発症日から陽性確定日の日数は減少傾向で約3日**となっています。ハイリスク患者や、ハイリスク者に接触する患者（同居者・介護者、職場の方など）の積極的な検査による早期診断をお願いいたします。



## 概況①

## 感染状況の分析

区分	モニタリング項目	前回の数値 (12月13日時点)	現在の数値 (12月20日時点)	前回との 比較	(参考) 過去最大値	項目ごとの分析
感染状況	①新規陽性者数	89.6人	<b>64人</b>	-28.6% ↓	161.0人 (11/22)	<p><b>感染の再拡大、医療機関でのクラスタ発生に警戒が必要</b></p> <p>感染状況の全ての項目で<b>減少傾向</b>となっています。実行再生産数（12/8状況）は1未満で0.79まで低下しています。減少スピードをもう少し上げられると良いと考えます。これまでの傾向から、<b>今回の波をどこまで下げられるか？が次の波の大きさに影響しそうです</b>。また、イギリス・オランダなどで短期間での再上昇が見られてます。札幌も注意が必要です。</p> <p>流行を抑え込み続けるためにも、早期検査ができる体制が重要です。発熱や風邪症状で検査を積極的に考える患者として<b>ハイリスク患者や、その同居者・介護者、同じ職場の方の積極的な検査による早期診断</b>をお願いいたします。</p>
	②実効再生産数 ※発症日ベース	0.99 (12/1)	<b>0.79</b> (12/8)	-20.7% ↓	2.32 (3/28)	
	③新規陽性者における接触歴等の不明者数（リンクなし）	19.0件	<b>5.7件</b>	-70.0% ↓	89.4件 (11/22)	
	④発症日から陽性確定日までの平均日数	3.5日	<b>3.1日</b>	-11.4% ↓	20.0日 (4/28)	
	⑤相談件数	38.0件	<b>17.0件</b>	-55.3% ↓	-	
	(内：症状あり)	1024.0件	<b>896.0件</b>	-12.5% ↓	-	

※①、③～⑤は直近7日間移動平均で算出。

confidential

## 概況④

## 検査・医療提供体制の分析

区分	モニタリング項目	前回の数値 (12月13日時点)	現在の数値 (12月20日時点)	前回との 比較	(参考) 過去最大値	項目ごとの分析
検査体制	①検査数	1468.1件	<b>1102.3件</b>	-24.9% ↓	1645.3件 (11/29)	コメント 流行の動きがある年代・職種に注目し、ハイリスク患者とその同居者のさらなる検査体制の強化が必要です
	②検査の陽性率	6.62%	<b>6.58%</b>	-0.7% ↓	24.9% (4/19)	陽性率が10%未満で、札幌市の目標である5%未満までもう少しの状況です。市内の検査体制はさらに充実していますが、5%以下を目標として検査の閾値を低くしてみてください。
医療提供体制	③入院患者数	257人	<b>242人</b>	-5.8% ↓	302人 (12/7)	コメント 重症患者・中等症患者が持続的に発生しています。体制強化が必要な状況は続いています。次の波を見据えた医療体制の構築が重要と考えます。
	(内：重症数)	16人	<b>15人</b>	-6.3% ↓	27人 (5/9)	入院患者数はピークを越えつつあると考えますが、重症患者数はまだ予断を許さない状況と考えます。次の波を踏まえて、 <b>陽性高齢者や急性期を乗り越えた高齢者の後方医療機関を充実させることが他の医療を継続するためにも重要です。</b> クラスタ発生にはまだまだ、 <b>最大限の警戒が継続的に必要な状況</b> です。  * 12/22 14時現在での入院重症者数は <b>21名</b> （ <b>重症病床占有率66%：33床中</b> ）、中等症者は68名、軽症者142名です（全体の <b>病床占有率72%：320床中</b> ）。自宅療養数は122名、宿泊療養は148名となっています
	(内：中等症数)	85人	<b>68人</b>	-20.0% ↓	110人 (11/29)	